自由印度假政府「ボース」首班閣下ノ發言(飜譯)

(十一月六日)

トハ、私ノ信ジテ疑ハザル所デアリマス。 幾億二希望ト激勵ト感激トヲ齎スト同時ニ、心疚シキ所アル總テノ者ノ胸中深ク恐怖ヲ與フルモノナルコ 情竝ニ我々ノ將來ニ對シ協力援助ヲ確約セラレマシタルコトニ對シマシテ、私ハ衷心ヨリ感謝ヲ捧グルモ 深甚ナル感謝ノ意ヲ表スル次第デアリマス、殊ニ閣下各位ガ其ノ御所見中ニ表明セラレマシタル深キ御同 マシテモ滿腔ノ謝意ヲ表スルモノデアリマス、議長閣下、此ノ決議ハ此ノ殿堂ノ壁ヲ越エテ遙カ我ガ同胞 ノデアリマス、更二又「ビルマ」國代表閣下御提議ノ下ニ、全會一致ヲ以テ採擇セラレマシタル決議 長閣下、閣下並二各位、此ノ歷史的會議二陪席者トシテ出席スルコトヲ許サレマシタルコトハ、私及 ノ同僚ノ光榮且恩惠トスル所デアリマシテ、玆ニ其ノ御厚意ニ對シ自由印度假政府ヲ代表致シマシテ ニ對シ

總意ト決意アリトノ自覺ノ下ニ、今ヤ我々ハ不倶戴天ノ仇敵撃滅ニ進軍セントシテ居ル次第デアリマス。 シテ居ルモノデアリマシテ、我々ノ背後ニハ啻ニ無敵日本ノ强キ力ノミナラズ東亞ノ解放セラレタル各國民ノ 我々自由印度假政府並ニ其ノ指導下ニ在ル總テノ者ハ將ニ米英帝國主義ニ對シ最後ノ決戰ヲ開始セント 議長閣下、私ガ昨日及ビ本日此處ニ在ツテ此ノ大會議ノ議事ヲ傾聽致シテ居リマス際、私ノ眼前ニハ

際會議ヲ囘想シタノデアリマス、卽チ、「ナポレオン」帝國沒落後一八一五年ニ開催セラレタル維納會議 リミア」戦爭後一八五六年二開催セラレタル巴里會議、「バルカン」ニ於ケル露土戦爭後一八七八年ニ開催 由ノ爲ノ叫ビニ耳ヲ傾クル者ヲ求メテ久シク其ノ堂內ヲ彷徨シタコトノアル彼ノ國際聯盟ノ會議ヲ想起シ 二永久二拘束スベク一九二五年二開催セラレタル「ロカルノ」會議二想ヲ馳セ、更二又、嘗テ私ガ印度ノ自 極東ニ於ケル英米ノ支配ヲ確保センガ爲一九二一年ニ開催セラレタル華府會議及ビ獨逸國民ノ手足ヲ巧ミ セラレタル伯林會議、 「パノラマ」ノ如ク世界ノ歷史ガ去來シタノデアリマス、私ハ過去百餘年間二開催セラレマシタル數多ノ國 前世界大戰ノ終結ヲ告ゲタル一九一九年ノ「ヴエルサイユ」講和會議、太平洋及ビ 「ク

タノデアリマス 而シテ更ニ此ノ歷史的會議ノ議事ヲ聽キツヽ、私ハ此ノ會議ト嘗テ世界史上ニ現ハレタル類似ノ諸會議

トノ間ニ、如何ニ懸隔アルカニ想ヲ致シタノデアリマス。

議コソハ解放セラレタル諸國民ノ會議デアリ、卽チ正義、主權、國際關係ニ於ケル互惠主義及ビ相互援助等ノ尊 嚴ナル原則ニ基イテ世界ノ此ノ地域ニ新秩序ヲ創建セントスル會議ナノデアリマス、私ハ斯カル會議ガ此 トスル陰謀、謀略ノ會議デモナク、又弱小ナル隣國ヲ瞞著セントスル會議デモナイノデアリマシテ、此 ノ日出ヅル國ニ開催サレタノハ偶然ノ事デハナイト考ヘルモノデアリマス、蓋シ世界ガ光明ト指導トヲ東 本會議ハ戰勝者間ノ戦利品分割ノ會議デハナイノデアリマス、ソレハ弱小國家ヲ犠牲ニ供セン

明ヲ東亞ニ仰ガナケレバナラナイコトニ立至ツタノハ洵ニ當然ノ理デアリ歴史的必然ナノデアリマス。 建ノ指導的立場ニ立ツベキ者ニ利己慾、貪婪及ビ猜疑心ガアツタガ爲デアリマス、故ニ玆ニ世界ガ再ビ光 二於テ、一再ナラズ試ミラレ來ツタノデアリマスガ總テ失敗二終ツタノデアリマス、ソレハ全ク新秩序創 **洋ニ求メタルコトハ之ヲ以テ嚆矢トハシナイカラデアリマス、世界新秩序建設ハ、旣往ニ於テ且他** ノ地域

二一九〇五年二亞細亞ノ一國ガ西洋ノ侵略ニ抗シテ蹶起シタル時ニ青史ニ鏤刻セラレタノデアリマス ハ歷史上定メラレタル所デアルコトヲ私ハ信ズルモノデアリマシテ、日本國政府並ニ國民ノ斯カル使命ハ夙 議長閣下、自由ニシテ繁榮ニ充チタル新東亞ノ建設ニ當り、日本國政府竝ニ國民ガ指導的役割ヲ努ムベキコト

件ニ對シ、幼少デアツタ私及ビ幾億ノ我ガ老幼印度同胞ガ如何ニ歡喜ト熱情トヲ注イダカハ今尙私ノ記憶 今日迄ニ屢△申シタルコトノアリマス通リ、當時我ガ國ヨリ遙カ彼方ニ於テ生起シツヽアツタ種々ノ事

夢想ナリ思想ナリハ汎亞細亞聯盟ノ形ニ於テ具體化シタノデアリマス。 我々印度民衆モ亦一九〇五年以來之ヲ憧憬シ來ツタノデアリマスガ、其後、特ニ前世界大戰以後、斯カル デアルト信ズル次第デアリマス、爾來亞細亞民族ハ結集セル亞細亞、自由ナル亞細亞ヲ夢見タノデアリ、 二新タナルモノガアリマスガ、是ハ印度人、印度兒童ノミナラズ世界ニ散在スル全亞細亞人ノ經驗シタ所

當ラナイ所ト考へラレルノデアリマシテ、是ハ全ク旣往ノ傳統及ビ文化ニ合致スルモノナノデアリマス。 其ノ後二十餘年ニ亙リ印度民衆ガ不斷ニ汎亞細亞聯盟ヲ思慕憧憬シ來ツタコトハ何人ニ取ツテモ驚クニ

テ、遠キ昔ニアツテハ印度ハ佛敎及ビ之ヲ中心トスル有ラユル文化ヲ通ジ全亞細亞ニ光被シ、次イデ囘敎 勢力ガ印度ニ達シタルトキニ於テモ、普遍主義的傾向ハ依然存續スルー方囘敎ヲ通ジテ西亞細亞ト新タニ 閣下各位ノ旣ニ御承知ノ如ク元來印度思想竝ニ文化ハ普遍主義ヲ以テ其ノ特色トスルモノデアリマシ

紐帶ヲ結ンダノデアリマス。

判別スルコトヲ知得シタノデアリマシテ、今コソ我々ハ國家主義ヲ無視セズ、却テ深ク之ニ根ザシタル國 洲列國ノ印度侵入ヲ招來シ、遂ニハ容易ニ印度征服ヲ成シ遂ゲシメタルコトヲ玆ニ告白シナケレバナラナ 際主義が眞ノ國際主義ナルコトヲ識ツタノデアリマス。 イノデアリマス、併シ我々ハ斯カル悲哀、苦惱及ビ屈辱ヲ通ジテ、今ヤ眞ノ國際主義ト謬マレルソレトヲ 併シナガラ、悲シムベキコトニハ中世紀ニ入ツテ、印度ハ謬マレル普遍主義ヲ發展セシメ、其ノ結果歐

遙カニ賢明トナツテ居ルノデアリマシテ、今ヤ諸國家間ノ國際的結集ノ創建ハ私ノ所謂地域的聯盟、 カル試三及ビ其ノ終局ノ失敗カラ多ク學ブ所ガアツタノデアリマス、從ツテ我々ハ斯カル企圖ニ付イテハ バ大東亞共榮圈ノ如キモノノ建設ヨリ始メルトキニ於テノミ可能ナリト確信スルモノデアリマス 我々ハ又歐洲其ノ他ノ地域ニ於テ再三行ハレタル國際新秩序建設ノ試ミヲ多大ノ興味ヲ以テ研究シ、斯

議長閣下、私ハ玆ニ、大東亞共榮圈ノ建設ハ單ニ東亞民族ノミナラズ、謂フヲ得ベクンバ全亞細亞民族

竝ニ全人類ニ取ツテ重大關心事タルコトヲ指摘致シタイノデアリマス。

於テ世界聯盟へノ途、卽チ壽府ニ於テ見ラレタルガ如キ强奪者ノ聯盟ニ非ズシテ、眞ノ國家共同體へノ途 得ル所デアリマス、殊ニ私ハ多年英國ノ帝國主義ノ專制、支配、抑壓ノ下ニ呻吟シ來レル西亞及ビ阿弗利 **義ヲ拂拭スルニ非ズンバ、抑壓セラレタル囘發國民ガ英國ノ桎梏ヲ脫シ、喪ハレタル自由ヲ克復スルコト** 今次戰爭二勝利及ビ成功ヲ克チ得ルヤ否ヤニ懸ル所大ナリト謂ヒ得ルノデアリマス、印度ヨリ英米帝國主 加ノ民族ニ付キ謂ハントスルモノデアリマスガ、尠クトモ此等諸民族ノ將來ノ解放ハ日本及ビ其ノ與國 ビ「モロツコ」ニ至ル地域ノ諸國民ガ東亞ノ諸事象ヲ深甚ナル關心ヲ以テ注視シテ居ルコトハ私ノ確言シ ヲ拓クモノデアルコトハ私ノ微塵モ疑ハザル所デアリマス。 ハ至難デアリマシテ、恐ラクハ不可能トモ謂ヒ得ルノデアリマセウ、大東亞共榮圈ノ確立ハ汎亞細亞聯盟 東亞ト西亞トヲ結ブ橋梁デアツタノデアリマス、從ツテ西亞、卽チ「アフガニスタン」ヨリ「アルジエリア」及 へノ道ヲ拓クモノデアリマシテ、更ニ亞細亞人ノ爲ノ亞細亞、換言スレバ全亞細亞共榮圈 ノデアリ殊ニ右地域ニ住ム被抑壓國民ト個人的接觸ヲ有スルモノデアリマスガ、實ハ印度ハ久シキニ亙リ 私ハ「アフガニスタン」ヨリ「チユニス」「アルジエリア」及ビ「モロツコ」ニ跨ガル地域ヲ親シク識ルモ ノ確立ガ究極ニ

懸ツテ我々ガ現戰爭ニ勝利ヲ占メ得ルヤ否ヤニ在ルトイフコトハ忘レ得ナイ所デアリマシテ、印度ノ關ス ル限り我等ノ運命ハ今次戰爭ニ於ケル日本及ビ其ノ與國ノ運命ト不可分關係ニ在ルノデアリマス、萬一我 議長閣下、併シナガラ總テ斯カル新世界、新亞細亞、自由ニシテ繁榮ナル新大東亞ノ理想ノ達成ハーニ

意味スルモノデアリ我々ハ斯カル奴隷化トノ妥協ハ決シテ之ヲ行ハザル決意ヲ有スルモノデアリマス。 印度民衆ニ取ツテハ斯カルコトハ全ク問題ニナラナイノデアリマシテ、卽チ對英妥協ハ奴隸化トノ妥協ヲ 徹底的抗爭以外ニ途ハナイノデアリマス、假令他國ハ英國トノ妥協ヲ考慮シ得ルト致シマシテモ尠クトモ ヲ、玆ニ私ハ議長閣下竝ニ閣下各位ニ確言スル次第デアリマス、印度ニ取リマシテハ英帝國主義ニ對スル 我々印度民衆ハ此ノ好機ヲ徹底的ニ利用シ、最後的ナル祖國解放ヲ達成セント決意シテ居ルモノナルコト **ラ今次戦争ニ當リテハ神籠我ニ在ルノデアリマス、而シテ斯カル國際的危機ヲ生涯賭ケテ待望シ來タレル** ガ與國ガ沒落スルコトアラバ、印度ハ尠クモ向後百年間ハ自由ヲ得ル望ミハナイデアリマセウ、併シナガ

識ルガ故ニ、私ハ我々ガ究極ニ於テ勝利者タルコトヲ確信スル次第デアリマス **ク決意ニ燃ユルモノナルコトヲ、閣下各位ニ對シ確約致シタイノデアリマス、併シ私ハ我々ノ前途** 二件フ苦惱及ビ犠牲ガ如何ナルモノナルニモセヨ、我等ノ究極ノ勝利ヲ確信シ、茨刺ノ途ヲ最後迄戰ヒ拔 ノ幼時ヨリ英國人ヲ熟知シテ居ルモノデアリマスガ、彼等ヲ斯ク熟知シ、印度ニ於ケル敵ノ力ト弱點トヲ ハル事業ノ重大サヲ輕視スルモノデモナケレバ、敵ノ戦力ヲ過小評價スルモノデモアリマセン、私ハ五歳 故二我々ハ今後如何ナルコトガ起ラウトモ、又其ノ闘ガ如何ニ長期且困難ヲ極メヨウトモ、更ニ又闘爭 二横夕

マシテ此ノ問題ハ闂下各位ニ對スルトハ全ク趣ヲ異ニスルノデアリマス、閣下各位ハ軈テ敵ガ加へ來ルベ 併シナガラ我々ハ自由獲得ノ爲ニハ當然其ノ代償ヲ支拂ハナケレバナラナイノデアリマス、印度ニ取リ

7

我ハ決シテ我々ノ前途ニ横タハル事業ノ重大サヲ輕視スルモノデハナイノデアリマス、洵ニ、私ガ此ノ 印度民衆ハ更二戦ヒ、己ガ自由ヲ戦ヒ取ラナケレバナラナイノデアリマス、故ニ玆ニ繰返シ申述ブレバ我 席上ニ在ツテ新東亞、新亞細亞、新世界ヲ想像致シテ居リマス間ニモ、胸中ニハ軈テ我々ガ印度ノ國境或 キ攻撃ヲ排除シ、現ニ保有セラル、モノヲ確保シ、各位自身ノ自由ヲ保持セラルレバ足ルノデアリマスガ、 ハ平原ニ於テ戰フベキ數々ノ戰鬪ノ場景ガ彷彿致スノデアリマス。

印度ヨリ英米帝國主義ヲ驅除シ、現ニ東亞全域ニ低迷スル脅威ヲ永久ニ芟除スルコト、其ノコトニ在ルノ 撃シ得ルヤ否ヤハ我々ノ意トスル所デハナイノデアリマシテ、我々ノ重大關心事ハ印度ガ自由ヲ獲得シ、 キ殘リ得ルヤヲ豫想スルコトハ出來ナイノデアリマスガ、我等個々ノ生死、戰二勝チ殘リ印度ノ自由ヲ目 彼ノ强力ニシテ假借ナキ敵トノ戦ニ赴クモノノ中、又我ガ印度國民軍將士ノ中ノ幾何ガ來ルベキ戦ニ生

デアリマス

知シテ居リマス、先刻申述ベマシタ通リ我々ハ英國人ヲ熟知シテ居リマス、我々ハ彼等ノ長所短所ヲ熟知 我ノ解放ノ日近キコトヲ確信シテ戰場ニ赴カントスルモノデアリマス。 アリマス、日本ノ如キ無敵ノ友ニ支援セラレ、閣下各位ノ寬大ナル支援ノ御言葉ヲ得タル以上、我々ハ我 シテ居リマスガ故ニ、前途ニ横タハル困難深刻ナルベキ闘爭ヲモ樂觀的氣持ヲ以テ待チ設ケテ居ル次第デ 議長閣下、私ハ多クノ人々ガ英國及ビ其ノ與國ノ實力ニ關シ誇張セラレタル觀念ヲ有シテ居ルコトヲ承

自由ノ新憲章トシテ世界史上二遺ランコトヲ祈念シテ已マナイ次第デアリマス。 アリ、更二ハ全世界ノ被抑壓國民ノ憲章タランコトヲ祈ル次第デアリマス、本大東亞共同宣言ガ本年以後 二、本日午後此ノ歴史的會議二於テ滿場一致ヲ以テ採擇セラレタル大東亞共同宣言ガ東亞各國民ノ憲章デ ナル御努力ガ成功ノ榮冠ヲ克チ得、岡倉覺三及ビ孫逸仙ノ理想ガ實現ニ移サレンコトヲ祈ルト共ニ、更 依り各位ハ人類ノ考へ得ル最モ崇高ナル事業ヲ遂行セラレツ、アルノデアリマシテ、玆ニ私ハ各位ノ崇高 閣下竝ニ各位、正義、主權、互惠及ビ相互援助ノ至高原則ニ基ク新秩序創建ノ事業ヲ始メラル、コトニ

テ、永ク其ノ名ヲ靑史ニ止メラル、デアラウコトヲ私ハ確信スルモノデアリマス。 ミ、私ノ希望スルガ如ク閣下竝ニ閣下ノ優レタル同僚各位ガ此ノ使命ヲ達成セラレタル曉ニ於テハ、各位 國ト生死ノ戰ヲ行ヒツヽアル一方ニ於テ、著々トシテ再建ノ事業ニ邁進セラレツヽアルコトデアリマシ 最モ榮譽アル條約ヲ締結セラレタノデアリマス、而モ尙最モ重視スベキハ、日本ハ有力ニシテ假借ナキ敵 シ獨立ヲ許與シ、人類全人口ノ約五分ノ一ヲ代表スル自由印度假政府ヲ承認シ、更ニ中華民國トノ間ニハ テ、私ハ日本ノ新自由亞細亞創建ノ使命ガ十二分ニ完遂セラレンコトヲ祈ル次第デアリマス、終リニ臨 ハ啻二新日本ノ建設者、新東亞、更二新亞細亞ノ建設者トシテノミナラズ、實二新世界ノ創造建設者トシ シ、兹ニ私ハ衷心ヨリ敬祝ノ意ヲ表セントスルモノデアリマス、日本ハ「ビルマ」國及ビ「フイリピン」國ニ對 議長閣下、閣下並二帝國政府ガ我々二對スル誠心誠意ヲ最モ雄辯ニ證據立テラレタル崇高ナル態度二對